

平成 29 年度 各係における教育活動重点目標

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、評価委員へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

1 教務係

| 今年度の重点目標 | |
|----------|----------------------|
| ① | 生徒の学力向上を目指す |
| ② | 校務が円滑に行えるように計画・立案する。 |
| ③ | 生徒の出席状況の把握と先行指導 |
| ④ | 生徒の豊かな人格形成を助ける。 |
| ⑤ | 入試広報係と協力しての生徒募集活動 |

※評価【 [達成度] A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 中間評価 | 実施事項と今後の課題 |
|---------|--|--------------------------------------|------|--|
| ① | 授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映 | 授業評価を実施し、授業改善に努めたか。 | A | 各教科ともに1学期のアンケートをもとに2学期に望んでいる。 |
| ①② | 教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫 | 計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。 | A | 内容の見直しはほぼ済んでいるが、生徒への反映の点で課題が残る。 |
| ① | 年3回（3年は2回）の実力テスト（実力診断テスト・到達度テスト）の結果を利用したスタディサプリーを含めた学習活動への反映 | 結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。 | A | 今年度より導入したスタディサプリーの長期休暇の課題を設け、教員の振り返り会も設定しながら生徒へ還元している。 |
| ①② | 授業時数の確保 | 年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。 | A | 急な変更もなく計画通りに進んでいる。 |
| ①② | 試験時間割・監督の日程 | 計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。 | A | 計画通りに進行中 |
| ①② ③ | 適切な年間計画の作成 | 年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。 | A | 計画通りに進行中 |
| ①② | 学校自己評価 | 学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。 | | 年度末に評価 |
| ②④ | LHRの計画・設定 | 学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。 | | 年度末に評価 |

| | | | | |
|----|---------------------------|---|---|--|
| ② | 校内教研・テーマ学習会の立案・実施 | 研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。 | A | 校内教研を2回、テーマ学習会を3回計画。それぞれ計画通りに実施している。 |
| ③④ | 生徒の出席状況の把握と先行指導 | 毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。 | A | 朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。 |
| ② | 各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる | 一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。 | A | 速やかな手続きができるようにしている。 |
| ①④ | 生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。 | 記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。 | B | 利用状況アンケートを実施。結果を分析し、有効利用について研究する必要がある。 |
| ⑤ | 入試広報係と協力して入試業務を行う。 | 円滑に行えたか。(学校説明会・中学校訪問など) | A | 計画どおりに実施している。 |

2 進路指導係

| 重点目標 | 今年度の目標 |
|------|--|
| ① | ガイダンスや講演会を通してキャリア教育の推進を図り、自己理解や職業観をもとにした主体的な進路選択を支援する。 |
| ② | 多岐にわたる入試日程や方法に対応できるよう適宜進路情報を提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行う。 |
| ③ | 進路実現に向け各種補習や模擬試験への取り組みは勿論、スタディサプリを活用した学力の向上を図り、希望進路の実現を支援する。 |

※評価【〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|---|---|----|--|
| ① | 三年間を見通したキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。 | 各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画通り実施できたか。 | A | 2、3学年とも月6に長野市でのガイダンスを実施済み。3学年は全員に面接指導会を実施。1学年は11月にガイダンスを実施予定のため、準備・実施をスムーズに行う。 |
| ① | 就職希望者を中心に職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。 | 看護体験や事業所見学の希望者に対し、趣旨や意義を事前に指導できたか。 | A | 例年の内容に加え、8月のステージ週間において事業所見学や先輩の話、面接対策などを実施した。 |
| ② | 生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適切な進路情報を提供する。 | 生徒の進路意識に見合った進路情報が提供できたか。 | A | 6月の信毎ガイダンスへの参加や、8月の提携大学キャンパス見学、スタディサプリの活用など情報収集ができた。 |
| ②③ | 生徒の成績の把握・分析を行い、職員全体で生徒の学習状況を把握できるようにする。 | 「FINE SYSTEM」を用いて情報を共有し、学習指導に役立てることができたか。 | B | 特進コースを中心に、模試データ等を活用している。3年は推薦対策として今年度より全国入試データ活用を始めた。1、2年を中心にさらなる活用方法を検討したい。 |
| ③ | スタディサプリの活用について適切な活用方法を研究し、実施する。 | 3年生の進学コースでの推薦合格者及びセンター受験者へ適切な指導ができたか。 | A | 3年生のセンター試験や一般入試対策としての活用を開始している。また、1年生で基礎学力の定着を目的に、重点的な活用を継続的に実施している。 |
| ③ | 生徒の学習の場を保障することで、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。 | 進路実現に向けた学力向上につながる「進学補習」や「土曜補習」を実施できたか。 | A | 進学補習・土曜補習を教科の協力のもと効果的に実施している。日曜学習室開放と教員を配置しさらなる学習機会の提供を行っている。 |

3 生徒指導係

| |
|-------------------|
| 今年度の重点目標 |
| ① 制服を美しく着させる |
| ② スマートフォンの利用ルール構築 |
| ③ 自転車の安全運転を徹底させる |
| ④ 駅構内・電車内のマナー向上 |

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

| 目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 |
|------------------|------------------------------|--------------------------|----|
| ① 制服を美しく着させる | シャツの第一ボタンまで締めさせる指導 | シャツの第一ボタンを締めさせる指導を徹底できたか | A |
| ② スマートフォン利用ルール構築 | 新しい西高のスタンダード構築 | 他係と連携し利用上のルールを設定できたか | B |
| ③ 自転車の安全運転徹底 | 生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導 | 運転マナーが向上したか | A |
| ④ 駅構内・電車内マナー向上 | 生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り | 乗車マナーが向上したか | B |

4 生徒会係

評価表

今年度の重点目標

- ① 生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
- ② クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
- ③ 他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題 |
|------|---------------------------------|--|----|---|
| ① | 本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。 | 予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。 | A | 小規模な行事を多く持ったこともあり、行事の企画運営総括が円滑に行うことができるようになった。 |
| ① | 太鼓の伝統を引き継ぐ。 | 太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。 | A | 全員が技術向上を目指して練習に励み、さらに質を上げることができた。 |
| ② | 委員会活動を活性化させる。 | 各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。 | A | 個々に目標を掲げ、その達成に全力を注ぐことができた。活動の継続性を図りたい。 |
| ② | 話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。 | 生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。 | A | 多くの意見が出される活発な生徒総会となった。最後まで責務を全うしようとする姿勢があり、一連の技能を身につけた。 |
| ② | 集団指導体制を通して豊かな資質を育む。 | 各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。 | B | 企画運営をするにとどまり、相互の交流はそれぞれの個性にゆだねる形となった。 |
| ③ | 他校や地域との交流を深める。 | 他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。 | B | 一部の団体の一部の地域との交流にとどまった。全校が参加し得る内容を検討したい。 |

5 防災整美係

今年度の重点目標

- ① 管理箇所の点検や防災の推進を図る。
- ② 年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
- ③ 全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
- ④ 学習環境や地球環境の保護意識を高める

| 重点目標 | 評価項目 | 評価の観点 | 中間評価 | 実施事項と今後の課題 |
|------|-------------|---|------|--|
| ① | 分担箇所の管理 | 破損箇所の発見・修理 箇所の点検・管理箇所の安全確保 | B | 事務室と協力して床の黒ずみを取った。劣化した机、椅子の交換をした。老朽化に伴って修理箇所はまだ多い。 |
| ① | 防災意識の啓発とそなえ | 生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施 | A | 訓練で非難が迅速に行われた。 |
| ②③ | 通学路清掃の推進 | 各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施（整美委員会が中心になって行う） | A | 各クラスが毎週、輪番で通学路の清掃をして綺麗になっている。整備委員会の活動は、年間を通して活発である。新委員に繋げたい。 |
| ③④ | ゴミ分別の徹底 | ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画 | B | 整備委員長が中心になって、ゴミ集積所でゴミ分別の活動を毎日行っている。分別がよく行われるようになってきている。 |